



狭山台小だより

令和元年6月3日(月)

第3号

狭山市立狭山台小学校

TEL 04-2958-6792

ほめて伸ばす

校長 中島 敏也

年度当初の職員会議で「今年度は特に児童を『ほめて伸ばす』ということを中心にいきましょう」と職員に話しました。

女子マラソン五輪メダリストの有森裕子さんや高橋尚子さんを育てた名指導者、小出義雄さん(4月24日死去)は、人をほめる天才だったといわれています。指導の基本は「ほめて伸ばす」です。本人も気づかないような長所を見つけるのが得意で、その長所をほめ、自信をつけさせて伸ばしていくという指導スタイルで多くの一流選手を育てました。小出さんの指導を受けた選手からは、「練習嫌いの私を、諦めることなく根気強く育ててくれた。」「弱い私に自信をつけてくれた。」「やる気を引き出してくれた。」など、数多くの感謝の言葉が寄せられました。

また、三重県のある自動車教習所は「ほめちぎる教習」で大きな成果を上げています。入所者が増えただけでなく、試験の合格率が向上するとともに、卒業後の事故率も大幅に減少したそうです。ほめることが指導の効果を高めたり、学んだことがより定着したりすることを示す例ではないでしょうか。さらに、指導者のストレスが減少し、離職者が減るといったメリットもあったそうです。

私たち教師は児童を指導する際、とかく「できていないこと」や「不十分なこと」「もっと頑張してほしいこと」に目が行きがちです。そのようなことを改善しようとする、どうしても、それを指摘して叱咤激励するという指導の仕方になります。そうではなく「よくできている点」や「頑張っていること」「以前よりも伸びたところ」を見つけ、小出さんのような「ほめて伸ばす指導」を行っていきたいと考えています。

ほめて伸ばす指導をするためには、日頃から、ほめることを見つけるようにしなければなりません。良くない点は自然と目につきますが、ほめることは、一人一人の子供の様子や変化をよく見ていないと見逃してしまいます。日頃から子供の様子を注意深く見守っていきたいと思います。

また、ほめるときには、努力の過程を認めほめることが大切です。よくできた、または伸びた結果をほめることも大切ですが、過程をほめることにより、子供の意欲はより高まります。意欲が高まると、子供は努力を継続しより伸びていきます。「ここがよくできたね」よりも「こういうところをよく頑張ったね」というほめ方をたくさんしていきたいと思います。さらにその意欲は、他の課題を改善することにもつながっていきます。過程を認めほめることにより、良さがさらに伸びるとともに、他の課題を克服することにもつながっていきます。

誤った行いや怠けなどに対しては、誤りを正したり、励ましたり、時には厳しい指導をしたりすることも必要です。そのような場合には躊躇せず毅然とした態度で指導しますが、できる限りほめる場面を多くしていきたいと考えています。

「ほめて伸ばす」指導を職員全員で心掛けていきます。

6月の行事予定

生活目標 ろう下や階段は右側を静かに歩こう

日	曜	主 な 行 事 等
3	月	算数タイム (プール開き)
4	火	お話朝会 家庭教育学級開級式
5	水	国語タイム
6	木	歯科検診 けやき学級合同遠足宿泊学習委員会
7	金	読み聞かせ(全) 校内硬筆展(15:40~16:30) けやき学級合同宿泊学習
8	土	国語タイム(音読) 学校公開(2~4校時) 校内硬筆展(9:25~11:35) 6年平和学習 1.3.4年生学年活動レクリエーション
10	月	朝読書
11	火	全校除草 PTA 運営委員会
12	水	国語タイム(読書)
13	木	学活タイム 学校評議員会議 クラブ
14	金	読み聞かせ(1~4年、けやき)朝読書(5,6年)
15	土	市内硬筆展(入間川小)
17	月	算数タイム
18	火	体育朝会 交通安全教室
19	水	国語タイム(言語) 耳鼻科検診
20	木	児童集会 クラブ
21	金	読み聞かせ(全)
22	土	硬筆中央展(本庄市立本庄東小)
23	日	硬筆中央展(")
24	月	算数タイム 通級指導教室保護者会
25	火	音楽朝会
26	水	児童朝会 授業参観・懇談会 4,5,6年けやき
27	木	音楽朝会 6年社会科見学 5時間授業
28	金	読み聞かせ(1~4年、けやき)朝読書(5,6年) 授業参観・懇談会 1,2,3年
29	土	おやじの会新規イベント
1	月	算数タイム
2	火	お話朝会
3	水	国語タイム
4	木	学年朝会 委員会 民生委員連絡会議
5	金	読み聞かせ(全)
		1学期終業式: 7月19日(金)
		夏休み: 7月20日(土)~9月1日(日)
		2学期始業式: 9月2日(月)

◇遠足等で通学班で登校できない学年◇

○けやき学級宿泊学習6月7日(金)

※6日は通学班で登校してから出発します。

○6年社会科見学6月27日(木)

『家庭・地域の宝である子供たちの健やかな成長に向けて』

～学校における働き方改革の実現～

《文部科学大臣メッセージ》(抜粋)

今、学校現場では、教師の長時間勤務の深刻な実態があり、働き方改革は待ったなしの状況です。ここで教師の働き方を変えなければなりません。働き方改革はこれからも、志高く能力のある方々が教師の道を選び、我が国の学校がさらに充実・発展するためにも不可欠になっています。

これは、変化の激しい時代を生きる子供たちに“たくましく生きる力”を育むためにも重要です。教師は本分である学習指導をはじめとする教育活動にこれまで以上に力を注ぐ必要があります。

こうした中で、朝早くからの登校指導や夜間・休日の見回り、長時間の練習を行う部活動、運動会等の過剰な準備など、必要な授業の準備時間が削られてまで教師が行うことでしょうか。“子供たちにとって真に必要なものは何か”、優先順位をつけて大胆に業務を減らし、家庭や地域の御協力を得ながら、社会全体で子供たちを育む体制が不可欠です。

皆さんの住む地域の学校で、教師たちが毎日子供たちの前でいきいきと教壇に立てるよう、力を合わせていきましょう。文部科学省としても、全力を尽くして取り組んでまいりますので、是非、学校における働き方改革に御理解・御協力をお願いします。(文科省ホームページに全文掲載)

平成31年1月29日

文部科学大臣 柴山昌彦

※柴山文部科学大臣は、昭和52年度狭山台南小学校の卒業生です。

※本校でも行事の準備や朝の登校指導等、業務を大胆に見直し、教員が行うべき真に必要なものだけに削減していきます。御理解・御協力をお願いいたします。